

第1回 足利市「道の駅」建設協議会 会議要旨

- 日 時 平成24年7月30日(月) 14:00~16:30
- 場 所 足利市 久野公民館ホール
- 出席委員 15名
- 代理出席 2名
- 欠席委員 2名
- 事務局 足利市都市建設部交通政策課
業務委託業者

- 開会のあと、各委員に委嘱状の交付があり、松澤副市長からあいさつがありました。
- 委員・事務局の自己紹介後、事務局から足利市「道の駅」建設協議会の要旨・要綱について説明がありました。
- 議事に入り、会長の選出が互選により行われ、その後、会長が副会長を指名し、承認されました。
事務局から足利市の「道の駅」に係るこれまでの経過、「道の駅」の概要、近隣の「道の駅」の事例紹介について説明があり、国道50号交通量の推移、近隣の「道の駅」の状況に関する説明がありました。その後、質疑応答・意見交換がありました。

【主な質疑応答・意見交換】

委員から「北関東自動車道が全線開通したが、国道50号の交通量が今後更に減ってしまわないのか。場所が瑞穂野町で良いのか。」といった質問があり、事務局から、「人口減少により将来の交通量は全国的に減る予想である。交通量も「道の駅」には大事であるが、先進事例をみると経営のあり方が「道の駅」の成功を左右している。」と回答がありました。

また、委員から「通行の途中に立ち寄るのではなく、そこが目的地となっている「道の駅」が賑わいをみせている。」といった意見がありました。

- 次に、候補地周辺の概要、施設の考え方について事務局から説明がありました。そして、委員から「道の駅」に導入する機能・施設に関する質疑応答・意見交換がありました。

【主な質疑応答・意見交換】

委員から道の駅の面積に関する質問があり、事務局から「建設協議会の意見を集約する中で決めていきたい。」と回答があり、ほかに「道の駅が災害時の避難所にならないか。」といった意見や、「近くの南部クリーンセンターの余熱や埋蔵文化財が利用できないか、環境と食で特徴を出せないか。」、「利用者の立場から、家族連れや若者、高齢者などだれもが楽しめる施設としてほしい。（子供と女性が集まる場所は流行る）」や、「近隣の観光施設や文化施設と連携した催しの開催、人と人が触れ合うサービスの提供。」といった要望がありました。

また、「道の駅」に設置する施設の提案として、太陽光の利用、特にメガソーラー施設の設置や親水公園、足湯（夏と冬の利用）の設置、商品（生鮮食品）の絶えない売場の設置、などの意見がありました。

- 「本日の建設協議会で出された委員の意見を、次回の建設協議会の資料とする。次回の建設協議会の日程、先進地視察を予定している。」とのことが事務局から報告され、閉会となりました。